各開建で優良工事等部長表彰式

業界リードする気概で

札幌開建

札幌開建は28日、本庁舎で表彰式を執り行った。21年度に完了した工事、業務の中から特に優秀な成績を収めた工事21件、業務17件が栄誉に輝いた。富山英範部長が受賞者一人ひとりに表彰状を手渡し、功績をたたえた。

本年度は、21年度に完了した工事384件、業務540件を対象に選出。困難な条件の克服、安全確保の取組や環境対策の取組に努め、特に優秀な成果を上げた企業および技術者を選出した。

工事部門では、2件受賞した北土建設㈱（札幌）、宮坂建設工業㈱（帯広）など重複除き19者、業務部門では2件受賞した㈱開発工営社（札幌）、㈱ドーコン（札幌）など14者が栄に浴した。

表彰式では、富山部長が受賞企業各社の代表と技術者に表彰状を贈った。富山部長は経験や企業開発を駆使し、優れた成果を上げた企業に敬意と感謝を表した上で「北海道の今を守り将来に欠かせないインフラ整備に携わる責任を持ち、業界をリードする企業としてより一層活躍してほしい」と期待を寄せた。

このあと、富山部長と受賞企業、技術者による記念撮影を実施。受賞者たちは笑顔で撮影に応じた。

富山部長が受賞者に表彰状を手渡した

質高い資本整備に期待

帯広開建

【帯広発】帯広開建は28日、帯広第2地方合同庁舎で2022年度優良工事等表彰式を執り行った。小林幹男部長が受賞者の代表者と技術者一人ひとりに表彰状を授与。優れた技術力をたたえ、良質な社会資本整備へのさらなる貢献に期待を寄せた。

21年度に完成した工事140件および業務221件を対象に選考。困難な条件を克服しての完工、創意工夫による技術力向上、安全確保や環境対策など、特に優秀な成果を上げた企業および技術者を選出した。

工事部門は8件で、宮坂建設工業㈱（帯広）など重複除き7者、業務部門は10件、㈱北開水工コンサルタント（帯広）など10者が栄誉に輝いた。

表彰式では、小林部長が受賞者の代表者と技術者一人ひとりに表彰状を授与。小林部長は「国民に質の高い社会資本を提供することは、北海道開発計画の推進に大きく寄与している」と称賛した上で、建設業を取り巻く課題に言及し「生産性向上を図るインフラDXやi-Constructionなどに引き続き前向きに取り組み、今後も技術開発や人材育成に尽力し、良質な社会資本整備に貢献してほしい」と期待した。

小林部長が受賞者一人ひとりに表彰状を贈った

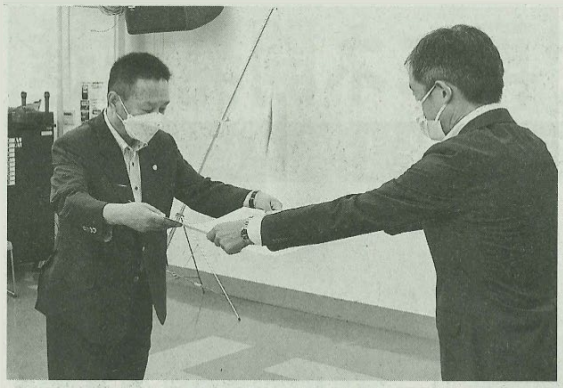
2022.07.29 北海道建設新聞

5開建が優良工事等部長表彰

高度な技術力に敬意

札幌開建

札幌開建は28日、同開建庁舎で2022年度優良工事等部長表彰式を開いた。優秀な成績を収めた部長表彰工事21件（19社）、業務17件（14社）の受賞各社代表と技術者に富山英範部長が賞状を手渡した。



富山部長（右）が表彰状が贈った

21年度に完了した工事384件と業務540件から、成績評定などが特に優秀で創意工夫や安全確保、品質向上などで顕著な成果を上げたものから選出した。今回の表彰工事21件は全て週休2日を達成し、13件がICT活用で生産性の向上を果たした。

式は新型コロナウイルスの感染拡大を受け、工事と業務の2部制とした。

富山部長は「企業の実績と技術開発力、技術者の知識と経験で優れた構造物や維持管理、実用性の高い成果品を納めていただいた。発注者として深く敬意と感謝を申し上げたい」と述べた。

その上で「北海道の今を守り、将来を築くために欠かせないインフラを残すことがわれわれの使命。受賞を機に今後とも優れた技術を発揮し、業界をリードする活躍を」と期待した。

18者の功績たたえる

帯広開建

【帯広】帯広開建は28日、帯広第2地方合同庁舎で2022年度優良工事等部長表彰式を開いた。工事8者、業務10者が受賞。小林幹男部長が各社代表と工事・業務の担当技術者の功績をたたえて賞状を手渡した。

小林部長（右）が受賞者に表彰状を贈った

同開建が発注し、21年度に完成・完了した工事140件と業務221件を対象に、施行成績評定や創意工夫、安全確保などの取り組みを踏まえて特に優秀なものを選考。表彰式は午前に工事部門、午後に業務部門の2部構成で開催した。

工事の表彰式で小林部長は「開発局では週休2日や若手・女性活躍といった働き方改革、ICTを活用した生産性向上への取り組みを進めている。今回の受賞者も各現場で取り入れていた。今後も前向きに実践してほしい」と祝辞を述べ、各社のさらなる活躍を期待した。

2022.08.05 十勝毎日新聞

今年度の優良工事
部長表彰に計18件

帯開建

帯広開発建設部は7月28日、帯広第2地方合同庁舎で、今年度の優良工事等表彰式を行った。工事部門8件、業務部門10件が部長表彰に選ばれ、小林幹男部長から表彰状が手渡された。

部長表彰は、帯広開建発注工事で2021年度に完成した工事140件から8件（7社）、完了した業務221件から10件（10社）が選定された。

表彰式には、各企業の代表者と技術者が出席。工事部門の表彰式で小林部長は「担い手確保に取り組んだ工事や生産性向上に優れた工事が多数受賞された。引き続き、北海道の良質な社会資本の整備と維持管理のため、ますます力を発揮してもらいたい」と式辞を述べた。（完戸雅美）

工事部門の受賞関係者

業務部門の受賞関係者

被表彰者は次の通り。（かっこ内は対象工事の技術者、敬称略）

▽工事部門＝川田工業（鎌田勝治）西江建設（村田高広）宮坂建設工業（中田利紀）拓殖工業（長崎秀一）萩原建設工業（馬渕重光）栗林建設（山本和則）西江建設（田中肇）、平田建設（岡田勝則）

▽業務部門＝北開水工コンサルタント（鈴木信幸）日本工営（松山洋平）ドーコン（宮坂純平）北海道道路エンジニアリング（六ツ崎直樹）ダイヤコンサルタント（加藤貴博）平田技術コンサルタント（藤川和男）構研エンジニアリング（高橋浩司）北王コンサルタント（大野充雅）三祐コンサルタンツ（東野成哉）農土コンサル（野倉士敬）